

参加をご検討中のみなさまへお知らせとお願い

【会場（カスタナの家）について

2018年11月から入居予定の木造建築の大きな古民家です。かつて材木業をされていた大家さんが、高校時代に自分で切り出した栗の木を梁に使用して建築し、仏前拳式もされたという思い出の詰まった家です。今は大家さんは住んでおられないのですが、取り壊すかどうかを考えていたところに偶然に出会い、ご厚意で安く住まわせていただけることになりました。そして、大家さんの想いを受け継ぐ気持ちから、アラビア語で「栗」を意味する「カスタナ」と屋号（愛称）をつけました。

【同居人（猫）について

2匹の猫が同居しています。まだ新しい環境に慣れていないこともあって、家の中の一室で過ごしています。どうか大きな声や物音を立てたりして怖がらせたり、部屋の扉を開けたりしないようにしてあげてください。

あ、ちなみに「マグロが好物です」とのことです。

【12月上旬の富山の気候について

平均的な気温データですが、最高9℃/最低2℃と、朝晩は寒さの厳しい時期に入ります。年によっては開催日の周辺で初雪が降る時期でもあります（積雪とはではいきませんが、ちらつく程度はあるかもしれません）。暖かい装いでお越し下さい。

【近隣の環境について

自然豊かな環境の中にある、田舎の町です。スーパーが徒歩5分程度、コンビニは徒歩10分程の距離があります。夜間の情報はまだつかめていませんが、飲食店もいくつかあるようです。富山地方鉄道「五百石駅」のすぐ近くで、駅も整備されたばかりの綺麗な建物で図書館やカフェなども入っています。

【宿泊する場合の寝具について レンタル布団代：1泊2,500円(税抜)・2泊3,500円(税抜)

宿泊される場合は、ご自宅から寝具や寝袋等を持ち込むことができます。また、布団等を運搬する手段がない場合には、当方でレンタル布団を手配することもできます（1泊の場合2,500円（税抜）、2泊（前泊・延泊等）の場合3,500円（税抜）の費用がかかります）。申込書に宿泊日とレンタル布団の希望をご記入ください。

【風呂・トイレ等の設備について

大きめの古民家で10LDKの広さがあります。各々、好きな部屋で寝ることができる広さがありますが、残念ながら風呂・トイレは一つしかありません。増設するだけの資金をもっていただければいいのですが（もちろん冗談です）、トイレはどうしもうまいにしても、大人数の宿泊の場合には入浴は一人でゆっくりくつろぐことは難しいかもしれません。参加者の人たちの中から、車を出してもいいよという人たちを募って、近くの銭湯に行く可能性が高いことを予めお伝えしておきます（入浴料がかかります）。

【アメニティについて

生活に必要なものについては、必要最低限揃えてはいるつもりですが、ホテルや旅館等のような、おもてなしするためのものは備わっていません。歯ブラシ、洗顔、タオル、寝間着等をご持参くださいますようお願いいたします。

■ 特定非営利活動法人 Human Flower 設立総会について

12/8 (土) 17:00 より、小一時間程の時間をかけて法人設立のための総会を行う予定です。ご入会の意思のある方については、ぜひご参加ください。

特定非営利活動法人の設立を集まった人たちで設立を確認する場であり、設立発起人である私たちから、法人の約束事(定款)や、これから何をしたいこうと考えているのか(事業計画案・予算案等)の説明を行う時間としての意味があります。しかし、資料に目を通せばわかるというものに多くの時間をかけることよりも、この「家(場や空間)」で何をしたいかや、集まった人たちのつながりの中でどんなことを取り組んでいきたいか等、静かな革命を起こすために思いやアイデアを出し合う時間にこそ価値があるのだと考えています。私たちにとって対話の時間が宝であることは、言うまでもないことだと信じています。

■ 懇親会について 参加費：1,000円+一人一品もちより(買ってきてものも、手作りでも何でもOK)

12/8 (土) 18:00 頃より、ワークショップ参加者および Human Flower 設立総会出席者の交流を目的とした懇親会を予定しています。

正直言えば、十分な数の食器類が揃えていません。懇親会で使用する食器類は、紙コップや割り箸等を購入する予定です。そのほか、飲み物(ソフトドリンク、アルコール、スープ類)の代金として1人1,000円ご負担をお願いします。もし、ご自宅に余っているお酒や飲み物、各地のおすすめのお酒などがあればお持ちよりいただけたら大変うれしいです。

また、料理も参加人数分を調理しようとする、調理をする役割の人が裏側で必要になってしまい、ワークショップや設立総会と一緒にいてほしい人たちが不在になってしまい本末転倒です。オードブル等を注文する方法も考えましたが、参加費が高くなるのも面白くないので、一人一品もちよりのポットラックの形態をとりたいと思います。手作りの料理でも旅の途中で見かけた食べ物でも何でも構いませんので、みんなでシェアしましょう。

■ 寄付金・品、差し入れ、遊休品の提供のお願い

法人の設立前からこのお願いをすることに対して、少し気がひけるところもありますが…。法人の理念のひとつに「わかちあい」をかかげる予定です。今回のワークショップの参加費の考え方についても、寄付(ドネーション)制を取り入れている理由について、もう少しだけ思いをお伝えしておきます。

この試みは、この世に存在するありとあらゆる物質や資源について、私たちが占有しているものや所有しているものは何一つないという考えに基づいています。所有することへの執着や権利を主張するような生き方から距離をとることを意味しており、誰かにとって必要としなくなったものを譲り受け、それらを「いま」必要としている人が現れたなら、それらを譲り渡していこうと考えています。

これまで、私たちはそれぞれの「経験」から得てきた「学び(叡智)」について、対話を通してわかちあう時間をとりにしてきました。これを物質や資源、更にはお金との付き合い方に対しても、そんなふうになりたいと思うようになっていきます。もし、留守中に家の中のものなくなつたとしても、泥棒や窃盗にあったという言葉ではなく、必要としている人の手に渡つたのだ、と自然に表現できるようになったとき、そこから見える景色はどんなものなのだろうか、という関心を抱いています。

みなさんにとって、今は必要なくなつたもので、まだ使うことのできるもの、誰かの役に立てば…と思えるものがあれば、ご提供いただけないでしょうか。ご協力をお願いします。